

情報セキュリティの「原論と実務」

～基本から内部犯罪抑制・サイバー攻撃防御の最新実務まで～

- ★情報セキュリティの管理者として、必要な知識、情報セキュリティの実務、緊急時の対応策などを学ぶセミナーです。情報セキュリティの担当者・管理者だけでなく、CIO（情報担当役員）の方にも役に立つ情報セキュリティに関する「原論と実務」を幅広く解説します。PC、ネットワーク、スマホ、SNS、メールからCSIRT、IOT、AI、仮想通貨、FinTechに至るまで、情報セキュリティをめぐる今日的脅威・課題についても実例を踏まえて対応策を解説します。
- ★セミナーでは、基本的な原論と実務だけでなく、内部犯罪抑制策や経営危機に陥るような事態を回避する高度な情報セキュリティ対応策、サイバー攻撃防御の最新実務などの「情報セキュリティ最前線」の紹介や、サイバー戦争と言われるような国際間の情報セキュリティの潮流も体系的かつ平易に解説します。
- ★講義のほかに演習にも力を注ぎます。過去のセミナーでは、受講者の方々から「実践に近い形の学習ができた」と評価をいただいています。演習は未経験者の方にも溶け込める様に配慮致しますので、新人の方や技術的な背景がない方、役員でも受講可能です。
- ★ 公認不正検査士（CFE）の眼から、不正事例の具体的対応方法を解説します。
- ★ 昨年受講された方でもタイトルは同じでも内容は相当変化しております。定点観測で毎年受講を是非お勧めします。

スペシャリストによる「短期特別集中講座」です

開催日：2018年6月19日（火）—20日（水）（2日間）

会場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：JSSM（日本セキュリティ・マネジメント学会） 常任理事 兼
「先端技術・情報犯罪とセキュリティ研究会」主査

ACCS（社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会）技術顧問

萩原 ITセキュリティ・コンサルティング 代表

CMC・N研究会常任アドバイザー/CFE（米国公認不正検査士）

萩原 栄幸氏

主催：CMC

Computer Based Management College

<http://www.nikkin.co.jp/cmc/>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援：一般社団法人 全国地方銀行協会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 全国信用金庫協会
一般社団法人 全国信用組合中央協会

研修の狙い

金融機関のセキュリティマネジャーとして必要な知識を習得します。また、日々、変化・進展するセキュリティ情報を幅広く身に付け、顧客や経営に信頼される活動に結び付けることを狙いとします。そして日々、進展する環境の変化を分析し、金融機関の情報セキュリティ態勢・機能の高度化を図ります。

研修のテーマ

- ・ 情報セキュリティ管理・運営に関する基礎知識の確認と実践・応用力が身に付くように指導します。
IPA（情報処理推進機構）などが提唱する情報セキュリティ対策の網羅性を確保しながら、時代の流れを最大限に取り込みます。また、情報セキュリティ関連の法規と制度についても解説します。
- ・ 「フォレンジック調査」「スマートフォン・タブレット」「サイバー攻撃」「フィッシング対策」「CSIRT」「仮想通貨」「AI」「IoT」「FinTech」など時代のキーワードをセキュリティ面から分析します。
- ・ 実践に基づく「情報セキュリティ演習」を未経験者でも安心して受講できる様に配慮し、解説致します。
- ・ 金融機関で起きたトラブルをもとに実際にどう対応すべきか、情報セキュリティ対応の演習を行います。

研修の対象

金融機関等に勤務し、セキュリティ部門の企画・開発、管理を担当している、もしくは今後担当される方、新人、セキュリティについても一度学習したいと思っている開発・企画・管理担当やシステム開発担当の方。そして情報セキュリティ対策が大きな経営課題となるなか、情報セキュリティ担当の役員までも対象としています。

開催要綱

日時： 2018年6月19日（火）－20日（水） 2日間（昼食は当方で用意します）

時間： 1日目 10:30～16:30（受付開始10:00）

2日目 10:00～16:00（受付開始 9:30）

講師： 萩原 栄幸 氏 JSSM（日本セキュリティ・マネジメント学会） 理事

会場： ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料： A：62,640円（本体価格58,000円、消費税4,640円）

（CMC金融機関機械化研究会会員、金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員）

B：66,960円（本体価格62,000円、消費税4,960円）

（後援協会会員機関）

C：71,280円（本体価格66,000円、消費税5,280円）

（一般機関）

定員： 25人（最少実施人員12人）

◇講師プロフィール

萩原 栄幸（はぎわら・えいこう）氏

日本における情報セキュリティの第一人者。23年間三菱東京UFJ銀行に勤務。先端技術の調査・研究の実験室「テクノ巢」の責任者を務め、更に内部犯罪調査を現場で指導してきた。情報セキュリティ、内部犯罪、サイバー攻撃、スマホ、SNS、クラウド、などについて独自の検証を踏まえ執筆や講演活動を行う。NHKやフジテレビ等にも出演し、活動範囲を広げ、2011年12月に世界で初めてAndroidのウイルス対策ソフトが論理上パソコン並みではないことをネット上で解説し世界の注目を浴びた。現在も地銀、信金、信組、JAなどの金融機関を主体にコンサルティングを実施し、実践で改善を行い、地域オンリー1を目指すよう精力的に指導している。照会先は jssm@hoshizora.jp

【講演・セミナー】 個別の銀行、信金、信組などでも多数の講演やコンサルティング実績を持ち、12年にはベトナムのハノイで民間銀行2行向けセミナーを開催。日本セキュリティ・マネジメント学会では12年11月の学術講演会（スマホがテーマ）の座長を務め、13年3月の総務省、経済産業省後援による「遠隔操作ウイルス」をテーマに公開討論会の座長兼司会を務める。13年6月の学会全国大会では「サイバー攻撃」をテーマに副大会実行委員長となり、個別に論文発表も行う。2014年11月の学術講演会（内部犯罪がテーマ）でも座長兼講師として活躍している。2016年も第一回情報セキュリティ・サミットや日本内部監査協会の全国大会など多数の講演を行っている。2017年中国の内陸部でも情報セキュリティ教育を実施している。

情報セキュリティの「原論と実務」(基礎～中級編)

【第1日目】 6月19日(火) 10:30～16:30 (受付開始 10:00 昼食 12:30～13:30)	【第2日目】 6月20日(水) 10:00～16:00 (受付開始 9:30 昼食 12:30～13:30)
<p>1: 情報セキュリティ今昔物語 本講座を実施して20余年。今までの世界と今後の世界について少しだけ立ち止まり、過去を観察し、未来を知るヒントを得る</p> <p>2: 情報セキュリティの基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンと周辺機器のいろはのい ・インターネット関連知識 ・マイナンバー ・スマホ、SNS、メールなど <p>3: サイバー攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイバー攻撃の基本 ・マスコミは伝えないサイバー攻撃の実態 ・金融機関の視点からみた防御法 ・無料の企業主催のサイバー防御セミナーの穴とは ・ここがポイント！サイバー攻撃の対処法 <p>4: ネットバンキング不正(フィッシング詐欺)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のネットバンキング被害の実態 ・全銀協の通達から何が見えるか ・金融機関とお客様の関係を円満にする補填方法 ・本音ではネットバンキングは本当に安全なのか ・今のうちからお客様を指導するポイント ・中小金融機関の法人被害が増えるワケとは ・ワンタイムパスワード、2要素認証の穴をみる ・金融機関としての対応法における基本 <p>5: 情報セキュリティの重要キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSIRT (詳細は2日目で実習します) ・IoT ・FinTech ・AI ・仮想通貨 ・MUFJコイン・Jコインそして・・・ ・中国のキャッシュレスの現地レポート ・その他 <p>6: 事件簿 ここ2、3年の間に発生した事件を中心にその経緯、原因、対策について解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年10大セキュリティ事件 ・日本年金機構 ・ベネッセ事件 ・NTTデータ(キャッシュカード偽造)事件 ・仮想通貨NEM580億円流出事件 ・メガバンクの相次ぐ人員削減の本当の意味 ・その他 	<p>7: 演習の前提について 金融機関の殆どで構築もしくは構築予定としているのが「CSIRT」です。今回は未経験者でも十分に満足が得られる様にまずこのCSIRTについて概要を述べます。それは新人の立ち位置でも役員の立ち位置でも学習できる様に配慮致します。現場でその実務を経験されている方でも満足のいく学習とさせて頂きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今なぜ「CSIRT」なのか？ ・金融庁はなぜこれに拘るのか？ ・金融庁検査から見るCSIRT ・今回の演習におけるCSIRTを自社内に無い場合における学習のポイント ・昨年の金融ISAC等で実施した「演習」における足りない点とはなにか？どうすればよいのか？ <p>8: 演習 2日目の大部分の時間を演習形式の講演に充てます。ただ、複数のグループ演習とさせて頂くにはその金融機関の状況もスキルも立ち位置もバラバラであるので「一人演習」とさせて頂きます。また、時系列的な時間の変化による演習形式はまだ無理という判断のもと「ピンポイント」における事象において皆さまの立ち位置での状況で回答をくださればそれで構いません。採点を致しません。ここでの経験を基に何かを掴んで頂ければそれでOKです！</p> <p>また技術論は最小限のレベルに留めますので、技術に疎い方や新人でも安心です。重要なのは金融機関としての確にどう動くのか？机上での学習より遥かに多くを学ぶことが出来、皆さまの立ち位置の視点で理解できます。ぶつ切りの知識、経験のない状況で如何に対応を行えば良いのか？極めて重要なテーマを、基本的な知識を習得すると同時に実践的な内容で学んでいきます。</p> <p>ここで内容を記載すると予習をされる方がおりますので、当日に資料を配布致します。</p> <p>【サンプル】実際はもっと具体的です。</p> <p>例1: 証券部のA主任がいわゆる「怪しいメール」の添付ファイルを開いてしまった！さて自社内で発生したらどう対応しますか？</p> <p>例2: HPの一部が卑猥な画像に置き換わっている！さて、自社ならどう対応しますか？</p> <p>例3: お客様からフィッシング詐欺に遭ったとの連絡！初動が重要と思われるのだがどう動きますか？</p>

031

第44回 情報セキュリティマネージャー養成コース

情報セキュリティの「原論と実務」

ホームページ用受講申込書 <2018年6月19日(火)～20日(水)開講>

貴社名

所在地 〒

連絡責任者

部署・役職

TEL

FAX

	参加者氏名	所属(部・課・グループ)	役職

お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図をFAX致します。

受講料 A: 62,640円 (本体価格58,000円、消費税4,640円)
 (CMC金融機関機械化研究会会員、CMC金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員)
 B: 66,960円 (本体価格62,000円、消費税4,960円)
 (後援協会会員機関)
 C: 71,280円 (本体価格66,000円、消費税5,280円)
 (A、B以外の一般の皆さまの価格)

【問合先】 CMC: TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注: (振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042
 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1279478
 りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1627070

(名義) 株式会社 CMC

振り込み予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

- 受講についてのお願い -

- ①受講料は、できるだけセミナー開催日までにお振り込み下さい。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、貴社名の前に「請求番号」の下3桁(枝番号)を付記してください。振込手数料は、貴社でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日前、一週間以内のキャンセルはできません。
- ⑤講演の録音・撮影、パソコン・携帯電話等の利用はご遠慮ください。
- ⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合があります。